


デジタル時代に対応した 知的財産制度の整備にむけて



慶應義塾長
安西 祐一郎

デジタル時代の知的財産制度について

世界最先端のIT国家 → デジタル時代

– コンテンツの創造と流通に革命的な変革

デジタル編集技術等を用いた
多様なコンテンツの創造

ネットワークを用いた
グローバルな共有

最先端の環境(デジタル時代)の知的財産制度

これまでと全く異なる革新的な状況と要求

→ 権利者・利用者のニーズ
権利保護と活用促進のバランス 等

根本的な見直しの必要

新たな制度に関する議論の進め方

- 産学官の連携が必須

産：ビジネスにおける専門的知見及び関係者の意見集約

学：新制度に関する統合的な研究及び提案

官：連携と推進のリーダーシップ(知的財産戦略本部)



抜本的な議論の第一歩として

知財制度の新たなあり方に関する議論を
まとめる研究会を大学を中心に進める

関係各省庁・産業界にも参加していただき、実効的な議論とする

新たな知財制度の確立に向けて

研究会での議論のとりまとめ・提案



検証

各大学との連携によるパイロットプログラムの推進

- 提案する仕組み・制度を実際の実証実験により検証



実社会への適用

経験を広く共有することにより

デジタル社会における制度の確立を推進



新たな制度の普及・発展

国際連携

産学官の連携をグローバルな大学間連携につなげ、
アジアを中心に国際貢献を推進

人材育成

一貫校などを利用し、初等・中等教育における
知的財産リテラシのプログラムを推進

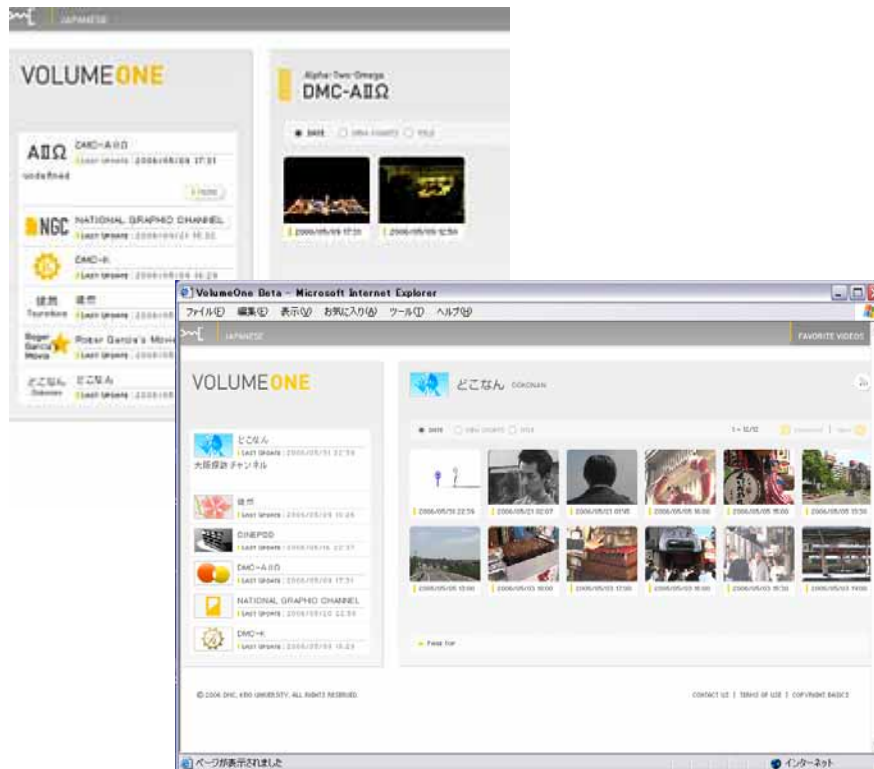


DMCの取り組み

(DMC: 慶応義塾大学 デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構)

産官学オープン政策フォーラム

Keio University



日韓メディア融合政策シンポジウム

21世紀の新たなコンテンツの創造・流通・利用モデル
動画コンテンツ配信プラットフォーム「VOLUMEONE」

韓国(延世大学)・中国(清華大学)▶
米国・アジア諸国とのDMCシンポジウム
「デジタル時代: 知のグローバル連携」

